

曾屋高生が福祉工場見学

障害者の自立支援学ぶ

秦野曾屋高校の3年生14人が7月10日、「社会福祉基礎」の授業の一環で、平塚市上吉沢の障害者就労支援事業所「しんわルネッサンス」の福祉工場を見学した。職員の案内で本田技研



作業中の利用者と笑顔で言葉を交わす生徒ら

工業(株)の自動車部品の組み立て作業をする利用者にも話を聞いた。見学後、生徒らは「障害のある人と職員の人が仲間として共に働いているのが伝わってきた」「二人ひとりに専門の仕事が必要とされているっていいと思う」などと話した。

同校は2010年から同事業所を運営する社会福祉法人進和学園と授業や文化祭等で交流を深めてきたが、生徒が同施設を訪問するのは今回が初。同校の二三四明子教諭は「10代のうちにこのような体験をすることは大きい」と話した。